

NPOが事業所開設

障害者就労目指し始動

障害者の就労や地域社会での自立した生活をサポートするNPO法人「シゴトシンク北海道」(清野侑亮理事長)が今月、函館市湯川町3に障害福祉サービス事業所「シゴトマップ」を開設した。就労移行支援をメインに年内には7人の障害者が利用を開始する見通しで、業務提供先となる企業への協力を呼び掛けている。同NPOは「地域の眠っているマンパワーを掘り起こして、新たな価値観で街の

活性化にもつなげていきたい」としている。 函館出身の清野さん(29)と、下斗米貴行専務理事(28)

勤対価として最低賃金を提供する考えだ。

「労働力として役立つ」

らが4月に設立し、今月、市の事業所指定を受けた。利用の男性が市内の高齢者下宿での清掃を開始。男性は1人暮らしをする目標を持って意欲的に取り組んでいる。新たに訓練先を広げるため、数件の企業とも交渉中だ。清野さんでは、7人いる職員が同行してサポートを行い、訓練期間は「障害者はイメージが先行している面が強いが、障害者の中も本人の就労意欲や自立した生活にもつなげるため、労あっても少しの工夫で働ける

企業に協力呼び掛け



障害者の就労機会創出を目指して事業を開始した清野さん(右)と下斗米さん。明るく経験豊かなスタッフが利用者をサポートする

人が多く、労働力として役立つことを企業にも知ってもらいたい」とする。

同NPOでは、就職に結びついた後も本人の相談に乗ったり、雇用先企業との関係が続け、職場への定着支援を行う。下斗米さんは「企業と障害者の間に立って改善を助言したり、同じ地域の仲間として接していきたい」話す。今後は障害者だけでなく、ニートや生活保護からの脱却を考える人への就労経験を積む事業も手がける考え。問い合わせは同NPO(0138・36・7878)へ。